

動力をすべて太陽光発電で賄う 日本初のソーラーシップ旅客船が誕生しました ～ ハウステンボスにて報道関係者向け体験乗船会を開催いたします ～

ハウステンボス（所在地：長崎県佐世保市）場内に、平成21年度産炭地域活性化基金助成金事業として進めていたソーラーシップ開発改造工事が終了し、日本初のソーラーシップ旅客船が誕生しました。

これは、平成19年度より既存の運河船・カナルクルーザーの電動化に向けた開発改造工事を行っていたもので、営業運転を目指しデータの採集等、実証・実験を行って参りました。

そして今回、従来の鉛バッテリーからリチウムオン電池へ交換し、太陽光発電を主体とし、本格的な電動船ソーラーシップとして生まれ変わりました。

ハウステンボスには昨年3月、長崎次世代エネルギーパークが完成し、施設の体験を通じて多くのお客様に新エネルギーを理解していただいております。完成したソーラーシップは試験運行を実施した後、4月より営業を開始いたします。ハウステンボスは更に地球環境に優しい街づくりを目指し、国内外からのお客様をお迎えしていきます。

記

【報道関係者向け体験乗船会 概要】

日 時： 平成22年3月29日（月） 14：00～

ご取材につきましては会場までご案内いたしますので、13：40までにハウステンボス入国バス停7番までお越しください。

場 所： ハウステンボス カナルステーション ブルーケレン棧橋

開発担当者からの概要説明後、実際に乗船していただき約20分間の運河内クルーズを体験していただきます。

今回の主体工事：
・制御システムの完全自動化
・重量、容積、耐久性に難のある鉛バッテリーからリチウムオン電池への交換
・ソーラーによる航行能力、充電容量等、ソーラーシステムの最終調整

備 考： 速力が3ノットから5ノットへアップし、操舵席にはソーラーの電気の流れや、電気の残量等一目でわかるようなモニターシステムも導入しました。お子様にも目で見てソーラーシップの仕組みがわかるような工夫も取り入れています。

以上

ソーラーシップの概要

長さ14.39メートル、幅4メートル、重さ13トン、屋根全面に発電パネル約3キロワットを取り付け、リチウムオン電池に蓄電するシステムを搭載。

< 共同開発機関 > 長崎総合科学大学、長菱制御システム(株)、前畑造船(株)、長崎県工業技術センター、
させばパール・シー(株)、安田産業汽船(株)、ハウステンボス(株)

< 支 援 機 関 > 長崎県産炭地域振興財団

(ニュースリリースについてのお問い合わせ先)
ハウステンボス株式会社 企画本部 広報室 高田・中平
TEL 0956-27-0138 FAX 0956-27-0025
<http://www.huistenbosch.co.jp>